

multilingual translation >
音声読み上げ・多言語翻訳は
「カタログポケット」で



みず・まち・自然 エンジョイ!米子

広
報

よなご

1

2023
January
No.214

特集

子どもの居場所



米子市長 伊木 隆司

あけましておめでとうございませす。市民の皆様におかれましては、令和5年の輝かしい新春を健やかに迎えのここと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、米子城跡が「絶景の城」として高く評価され、市内外から多くの方にお越しいただき、観光面でも新たな可能性を引き出せた年でした。また、夏には米子駅前において

有観客で米子がいな祭を開催し、夜空に6000発の花火を打ち上げるなど、コロナ禍の中に明るい話題を見出し、活力あふれる米子への気運を盛り上げることができました。

また、総合相談支援センター「えしこに」や教育支援センター「ぷらっとホーム」を相次いで開所させ、家庭や子供の困りごとに寄り添える体制を強化し、本市の福祉や教育の充実を図ることもできました。

本年は、いよいよ米子駅南北自由

通路（通称…がいなロード）と駅南広場が完成し、JR米子駅の新しい姿が現れます。そして、米子駅前や角盤町周辺などでは、公共交通と歩行者中心の空間へと転換していくウォークアブル推進事業「歩いて楽しいまちづくり」を進めます。皆生温泉においては、次の100年も選ばれ続ける温泉地をめざし、そぞろ歩きが楽しめるよう街の灯りをリニューアルします。

また、健康寿命の延伸のため、フ

レイル対策に一層力を入れて取り組むなど、人々が集い、多様な活動を繰り広げられる「住んで楽しいまちよなご」の実現に向けて挑戦を続けてまいりますので、市民の皆様には、引き続き市政に対するご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたしま

新年のごあいさつ

米子市議会議長 稲田 清

明けましておめでとうございませす。

市民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会運営並びに活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、未だ収束することのない新型コロナウイルスに加え、ウクラ

イナ情勢による資材高騰などにより、市民生活や経済活動にさまざまな影響が及び、現在に至っております。一方で、北京オリンピックにおいて日本勢が冬季オリンピックで最多となるメダルを獲得、そして、本市においては、3年ぶりに米子がいな祭が米子駅前通りで開催されるという喜ばしいニュースがございました。

未曾有のコロナ禍での米子がいな祭の開催は非常に大きな意義があったと思います。

新型コロナウイルスは早くも4年目を迎え、一旦収束の兆しが見えたものの、先々が未だ不透明な状況であり、引き続き感染対策と社会経済活動の両立をより強固にした施策が必要であると考えております。

議会におきましては、昨年3月に「米子市議会基本条例」についてその成果や課題を検証し、ホームページで公表したところであり、今後とも検証を継続し、議会のDX化を含めた議会改革に取り組む所存でございます。

また、6月に任期満了による市議会議員選挙があり、26人の議員が市民の皆さまの負託を受け、新たな体制でスタートいたしました。今後もさらなる市民福祉向上のため、わかりやすく開かれた議会を目指して、公平性や透明性のある議会運営に努めてまいります。

結びに、米子市の発展と市民の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

令和4年 市政主要ニュース

昨年を振り返り、米子市政に関する主要ニュースを10項目選びました。

米子城跡 絶景の城として「最強の城」に選定／“ダイヤモンド大山”奇跡の絶景に感動！

NHKの新春特番で、米子城が絶景の城として「最強の城」に選ばれました。天守台から見る360度のパノラマや大山山頂と日の出が重なる「ダイヤモンド大山」などが評価されました。また、2月と10月には、天守台でダイヤモンド大山を見る観望会を実施。県内外から多くの人々が訪れるなど、注目を集めました。



ふれあいの里総合相談支援センター「えしこに」開設

複合化・複雑化する福祉課題を分野横断的に支援する拠点として、ふれあいの里総合相談支援センター「えしこに」を4月に開設しました。さまざまな福祉の困りごとを“いい具合に”支援しています。

「淀江どんぐりこども園」開園

淀江保育園と宇田川保育園を統合し、米子市初の公立の認定こども園として「淀江どんぐりこども園」が4月に開園しました。子育て支援センターも併設し、淀江地区の子育て支援の拠点を担っています。

米子市教育支援センター「ぷらっとホーム」開所

学校や家庭以外の居場所・学びの場として、米子市教育支援センター「ぷらっとホーム」が8月に開所しました。社会的自立や学校復帰のきっかけづくりの場として、通所する子どもたちと保護者を支援しています。

新型コロナウイルス感染症等生活支援・経済対策などの推進

新型コロナウイルス感染症等による経済や生活への影響が大きくなる中、さまざまな給付金の支給や飲食店応援キャンペーンなど、生活支援や経済対策を実施しました。

米子市出身スポーツ選手が全国・世界を舞台に大活躍

東京オリンピック女子ボクシング金メダリストの入江聖奈選手をはじめ、ボクシングの木下鈴花選手、競泳の武良竜也選手、飛び込みの三上紗也可選手・佐々木音華選手など、米子市出身のスポーツ選手が国内外の大会で大活躍されました。

「脱炭素先行地域」に選定

環境省が募集する「脱炭素先行地域」に、米子市、境港市、ローカルエナジー株式会社、株式会社山陰合同銀行の4者による共同提案が選定されました。温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「脱炭素社会」の早期実現に向け、取り組みを進めます。

啓成小学校校舎改築（保小連携型学校整備）

老朽化により建て替えが進められていた啓成小学校の新校舎が8月に完成。今後、同一敷地内に認定こども園を整備し、小学校と一体的な取り組みを本市として初めて行うこととしています。

米子駅南北自由通路の通称「がいなロード」に

令和5年8月ごろに供用開始予定の米子駅南北自由通路の通称名を募集し、「がいなロード」に決定しました。地元で慣れ親しまれた「がいな」という力強いフレーズで、米子市の発展への願いが込められています。



おくやみコーナー設置とスマート窓口手続き拡大

死亡に関するさまざまな手続きを1か所で受け付ける「おくやみコーナー」を10月に設置。加えて、ライフイベントに伴う手続きを一括して受け付ける「スマート窓口」では、利用できる手続きを拡大しました。